■インド：アンドラプラデシュ州、5 年間で電気自動車 10 万台導入を計画

2018 年 3 月 4 日付の報道によると、インド南東部のアンドラプラデシュ州は、電気自動車（EV）普及に向け行動計画を策定する予定である。同州は、州政府の公用車を皮切りに、今後 5 年間で EV を 10 万台導入する計画で、省エネサービス公社（EESL）が実施する入札を通じて調達する。投資額は 1,050 億ルピー（約 1,700 億円）で、10 万人の雇用創出を見込んでいる。州政府は 3 月中に、行動計画の策定に向けて、自動車メーカー、バッテリーメーカー等の関係者と会合を開催する予定である。